

2023 年 6 月 21 日
東海旅客鉄道労働組合政策部発行



JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION



伴野豊衆議院議員が予算委員会で発言

2023 年 2 月 1 日に開催された予算委員会において、J R 東海ユニオンが推薦する J R 連合国会議員懇談会副会長の伴野豊衆議院議員が「社会資本整備、社会インフラ全般における課題について」、「リニア中央新幹線」等について質問を行いました。

とりわけ「リニア中央新幹線」について、静岡工区の関係にも触れながら、「総理も、デジタル田園都市国家構想というところで、しっかりその位置づけを明確にされています。総理も御自身の大きな構想の中でこれを位置付けいただいているとすれば、やはり、今、残念だけれども力を合わせ切れていない人たちの総理のリーダーシップでまとめていただいて、次世代のためにやらねばならぬことだという位置づけで、それぞれの方が考えていただくだけで、私は展開が違ってくると思いますし、付け加えれば、あの三兆円の財政を入れたときも、与党はもちろんでしょう、野党も八割以上賛成したのですよ。だから、政治的には国家プロジェクトだと言っていい。ただ民間企業が今建設主体でやっているから、助けていただけることは助けてやっていただきながら前へ進めていただきたいと思います」と発言しました。



伴野 豊 衆議院議員

岸田総理からは「私の年頭会見の中で、リニア開業後の東海道新幹線における静岡県内駅の停車頻度の増加に関する調査について、国交省において本年夏をめどに一定の取りまとめを行うことによって地元の皆様のご理解をいただくように努力をする、これを明らかにさせていただきました。この取り組み、しっかりと関係者の皆さんに説明をしながら、是非、全体としてのプロジェクトを前進させるべく、私自身、先頭に立って努力をしたいと思います」と、

また斉藤国交大臣からも「国土交通省としまして、一日も早い開業に向けて取り組むことが重要であると考えており、今後とも、大井川流域市町など地元の皆様のご意見を踏まえながら、リニア中央新幹線の早期整備を促進してまいります。の答弁がなされました。